森とわたしたち

印南町立清流中学校第1学年

森林の役割

森林は土砂崩れなどの災害を抑え、人にいやしを与えるなど、我々が暮らすこの地球上で欠かすことのできない存在です。

森林の特つ力は大きく分けて8つになります。

1. 水を育む
2. 土砂の流出を防ぐ
3. 土砂崩れを防ぐ
4. 雨水を土に蓄え河川の急な増水を防ぐ
5. 木材を供給する
6. 二酸化炭素を吸収し酸素を供給する
7. 野生動物の生息・生育の場
8. 安らぎを与える

など。

印南町の森林分布

1ヘクタール(ha)とは 100m×100m のこと

総面積：1万1363ha

森林面積：8225ha

印南町の森林：72.6%

櫻川や真妻の方は良い山がある。

豆知識

- 森がすずしい理由は、水などが蒸発して熱を吸収するから。
- 世界一固い木はリグナムバイタという木
- 世界一やわらかい木はバルタという木
- 木の香りにはリラックス効果、ストレス解消などの効果があると言われています。

植林から出荷までの流れ

1. 植林
   育てる木の、相性の良い所を見極め、1ha あたり1に約5000本を1本ずつ植えます。
2. 下刈り(育林)
   下刈り(草刈り)をせず放っておくと、苗木の成長が妨げられるので下刈りは必要な仕事です。
3. 伐採
   樹齢60～70年となった木はチェーンソーで根元を伐り倒されます。
4. 製材
   丸太に四角くカロエする段階の作業です。
5. 乾燥
   桧材に比べて乾燥が著しく難しいとされる杉材の乾燥をします。
6. 品質検査
   モルダー仕上げ後、職人が検査を行い割れ、虫害、反り等の不具合をチェックします。

緑育体験に行ってきました！

課題

「林業産出額が減少している。

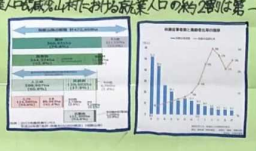
日本の林業出額は後の大量伐採に伴う国産材の生産量が減少しています。農林水産省の公表した令和2年林業産出額によると、令和2年は、製材等の生産量が減少したことにより、前年比1.2億円減の493億円（対前年増減率2.9%減少となった。

「林業従事者が高齢化している。

第一次産業の多くがそうであるように林業もまた高齢化が進み、後継者問題に直面しています。総務省の国勢調査によると、林業従事者の数は長期的に減少傾向で推移しており、2024年には約1.5万人となっています。林業の高齢化率（65歳以上の割合）を見ると、2024年は25.2%で全産業平均（13%）に比べても高い水準にあります。

「森林資源を活かした産業育成が進んでいない。

森林資源を活かした産業育成が進んでいないことも、日本の林業の課題と言えます。日本では林野面積の6割を山村が占め、それを全人口の3%でしかない状況です。また、過疎化、高齢化の進行により林業人口減少、山村における就業人口の約2割は第一次産業従事者であるため地域の森林資源を活かした産業育成が重要と考えられています。



道具

- チェーンソー

- 小道具
  木を伐るための補助器具とし、クサビ、木回し等の小道具がある。これらは、より安全に木を倒すための道具。
- 道具の値段
  一番高い道具の値段：3000万円
  一番安い道具の値段：200万円
- チェーンソー
  のこぎくさりにゅう
  金属刃が金具状（ソーチェーンと呼ぶ）になっていて、これが回転し木を伐る。
  多数の小さな刃がついたソーチェーンを動力により回転させる。
  金属と同様に対象物を切ることができる。

木の切り方

- 伐り倒す木
  木を伐り倒してしまう基準は、枯木、風雪害木、成長の遅れた木を選ぶ。1回の間伐で、根元ね3割程度（本数又は立ち木材積当たり）の木を伐り倒す。
- 木の伐り倒す方向の決め方
  木を伐る場合、その木の重心（傾き等）がどの方向に向いているかを考えるが、その日の風向きや、障害物、地面の凸凹なども安全な伐倒に大きくかかわる。倒しやすい方向もあるから、慎重に決めなければならない。
  伐り倒す方向が決まったら、倒れるときに安全な場所に退避する必要があるから、その場所も決めておく。

ミニコーナー

- 木材は適切に森林を管理すれば半永久的に再生産できる材料であるといえる。
- 土倉庄三郎さんは、林業分野でとどまらず、多方面で活躍した「日本林業の父」「吉野林業の中興の祖」と言う林業の父である。
- 急山の雪を使った作業道や土場づくりは、コストダウンのための古くからの知恵です。
- 降雪は重機を使うので、手作業はほとんどない。
- 林業は危険で事故が多いため、林業の安全対策、安全教育が必須。安全意識が希薄な林業者で働くのはやめておく方が良い。

森林循環紙マーク

森林節環紙

※著作権により本人の画像は差し控えております。